

瑞浪市景観計画策定委員会 第3回 委員会

議 事 要 旨

日時：平成26年7月30日（水） 14:00～:16:30

場所：瑞浪市役所 2階 大会議室

出席者

松 本 直 司	(名古屋工業大学大学院工学研究科 教授)
道 尾 淳 子	(アトリエサノ+コンテ 元愛知淑徳大学メディアプロデュース学部 助教)
宗 宮 裕 雄	(岐阜県多治見土木事務所 所長)
山 本 敦 司	(岐阜県東濃建築事務所 所長)
梶 田 正 紀	(岐阜県建築士事務所協会 会員)
伊 藤 光 昭	(瑞浪商工会議所 専務理事)
永 井 恒	(瑞浪市農業委員会 会長)
安 部 利 美	(瑞浪市文化財審議会 会長)
小 栗 昭 治	(造園緑化協会陶都支部瑞浪分区 分区長)
大 山 理 晴	(瑞浪市連合自治会 役員)
安 藤 則 通	(公募市民)
鈴 木 奈 津 子	(公募市民)



議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - (1) 現地視察の感想報告
 - (2) 景観形成の方針について
 - (3) 行為の制限(届出対象と景観形成基準)について
 - (4) 今後の予定等について
4. その他の質疑応答
5. 閉会

議事要旨

(1) 現地視察の感想報告

【質疑・意見】

- ・ 竜吟峡をはじめ、瑞浪には良いところがたくさんあることを知った。景観を良くしていくためには住民への意識付けが大切であると思う。〈委員〉
- ・ 観音堂から見た田園風景が良かった。大湫や細久手においては、電線類の地中化や街道の風景を残すための交通網の整備を図ってはどうか。〈委員〉
- ・ さくらさくらの散歩道、煙突の風景が良かった。それから中山道の大湫、細久手は残していきたいが、特に細久手をどのようにしていくかはよく考えなくてはいけない。〈委員〉
- ・ 農村地域の田園風景は素晴らしい。ただ高齢化で後継者がいなくなると原野化し、風景も損なわれていく。特に棚田の草刈りなどは難しくなる。〈委員〉
- ・ 文化財登録された煙突が良かった。中山道については、宿場町として残していきたいが、ちょっとした食事や飲食ができる場所は必要だと思うが、馬籠のような観光地化を目指すものではないと思う。〈委員〉
- ・ 竜吟峡、さくらさくらの散歩道、大湫宿などは連続的に見ることができて良かったが、桜堂薬師や狛犬、茶つぼなどは単独のものなので、続けて見て回れるようなことができると良いと思う。〈委員〉
- ・ 容易に行ける場所ではないので、景観資源としては位置付けにくい、木曽川の流域は素晴らしいところだと思う。小里川ダムについては、陶地域としてどう展開していくかを検討すべきと思う。全体としては、今あるものも含めて維持管理が大切であり、ボランティア等と連携していく必要があると思う。〈委員〉
- ・ 大川の登窯、桜堂薬師、大湫宿が良かった。これらの風景を語ることができる人を受け継いでいくシステムが必要ではないかと思う。〈委員〉
- ・ 屏風山が見える景観が瑞浪らしいと思う。今あるものを残していく方法を検

討すべきである。〈委員〉

- ・県の景観形成ガイドプランにある風景が瑞浪には確かに残されており、それを確認することができた。〈委員〉
- ・車窓から見ただけではあるが、益見地区が印象深く、帰ってから少し調べたりもした。魅力あるものが多くあるが、さらにそれらの背景を知ると見え方も変わってくるのではないかと考えている。地域の学習プログラムにこのような景観に関わるものを組み込めればよいのではないかとと思う。〈委員〉
- ・中山道は日本の宝である。この景観計画のなかでどうやって残していくかを考えていきたい。中山道全体として、居住する環境も整えながら、今までの流れを汲んだ保全の在り方を打ち出せばよいのではないかと。それから、酒蔵も良かった。祭りが行なわれているということは、地域のコミュニティが形成されていることなので、地域のリーダーがいれば上手く取り込んでいけるのではないかとと思う。ハードの整備と心の整備が大切であり、全体の骨子を固めながら、重点地区へ展開し、できるところから進めていけば良いのではないかとと思う。〈委員長〉

(2) 景観形成の方針について

【質疑・意見】 ※“→” 以下は事務局の回答。

- ・先ほどの委員長の話にもあったが、できるところから進めていくという理解で良いか。〈委員〉
 - ・これらは全体の景観形成の方針なので、個別具体には重点地区を指定したなかで、色々な制限も設けながら、アメとムチ的なことで進んでいくのではないかと思います。〈委員長〉
- 計画の本編ではもう少し細かく景観形成の方針を記載していきます。重点地区での考え方については、その地域住民との合意形成のもとでとりまとめていく予定です。
- ・景観形成の目標はもっとシンプル、単純で良いのではないかと。ここでは⑤番が目標で①～④はその手法のように思う。〈委員〉
 - ・市としての全体目標「キャッチフレーズ」のようなものがあっても良いと思う。それから、できれば短い言葉の方が良い。何項目設けるかも含めて再考してもらいたい。
- 承知しました。
- ・各地域の将来目標のなから、“語らい”、“語り合い”とあるが何か特別な意味があった上での使い分けなのか。〈副委員長〉
- 景観計画も景観という切り口からのまちづくりのひとつであることから、都市計画マスタープランにおいて設定されている各地域の将来目標を用いています。
- ・瑞浪地域には土岐川やさくらさくらの散歩道があるので、将来目標に自然と

いうキーワードがあっても良いのではないかと。〈委員長〉

- ・やはり瑞浪駅前がどうかにならないかと思う。〈委員〉
- ・そもそもとして、都市計画マスタープランにある記載を変えてもよいものなのではないかと。〈委員〉

→景観面を考慮しての変更は構わないものと考えます。

- ・土岐地域には酒蔵もあったし、桜堂薬師もあるので、歴史という言葉が入らないだろうか。方針で記載されていることが目標で総括されているようにできるようにしたい。〈委員長〉
- ・これらの前段で瑞浪市における景観軸などの特性の整理があって、それを受けての地域別の方針という構成にしてはどうか。〈委員〉
- ・明世地域では、もう少し夢みたいなもの、例えば、未来や明日、将来などがキーワードとして考えられ、子どもが将来を楽しく語れるやわらかさがあると思う。〈委員長〉
- ・日吉地域では、人間生活の営みが見えてくると良い。〈委員長〉
- ・目標に文化とあるので方針にももう少し文化的な記載が必要だと思う。〈委員〉
- ・市の統計書では各地のお祭りについても整理されているので、それらも反映すると良いのではないかと。〈副委員長〉
- ・私は建物や自然を残していくことが景観計画だと思っていましたが、お祭りまでも入れると広がりすぎないでしょうか。〈委員〉
- ・器だけでなく、そこでの人の活動がないと上手くいかないということだと思います。〈委員長〉
- ・規制で縛りすぎると住む人がいなくなる。人を守っていくことをやらないと建物も残せなくなります。〈委員〉
- ・景観を良くしていくには、人と背景とモノが大切である。〈委員長〉
- ・日吉地域では獅子舞や浄瑠璃があります。〈委員〉
- ・釜戸地域では竜の云われの確認も必要でしょうか。〈委員長〉
- ・陶地域ではかつて栄えた産業窯業が残っていない状況です。陶磁器の活かし方が難しい。〈委員〉
- ・陶地域では方針にも焼き物の記載があった方が良いかも知れませんが、陶磁器とゴルフは市全体に関わるものとして整理することも考えられます。いずれにしても地域での人の活動が見えてくるような目標とそれと整合がとれた方針となるよう少し見直しをお願いします。〈委員長〉

→了解しました。

(3) 行為の制限(届出対象と景観形成基準)について

【質疑・意見】 ※ “→” 以下は事務局の回答。

- ・瑞浪市に風致地区の指定はありますか。〈副委員長〉

→ありません。

- ・他市と比べて工作物は少し厳しいように思う。他法で対応しているものもある

るし、届出されても結局許可するしかないのであれば、含めないという考え方もあるのではないか。この内容でも大丈夫であるが、瑞浪市として届出対象とするからには、それぞれ理由を整理しておいた方が良い。〈委員〉

- ・他市では見られないものも対象にしているので、取り組みとしては良いと思う。〈委員長〉
- ・広告塔は目立つのでその為に入れておくのは良いことだと思う。〈委員〉
- ・今後の話になりますが、駅前のような市街地を重点地区に指定している例は見ない。広告物や緑で規制誘導を進めていけば良いと考えています。〈委員長〉
- ・届出対象と基準については概ね了承ということでよいでしょうか。〈委員長〉
- ・了承〈各委員〉

(4) 今後の予定等について

【決定事項】

- ・今後の予定等について承認を得た。
- ・事務局より来年1月にシンポジウムを予定していることを連絡した。

以 上